

課題名	代表的なアサガオ 100 系統の多型と遺伝子変異の情報整備
課題管理者	星野 敦 自然科学研究機構 基礎生物学研究所
実施期間	2020 年度
概要・実施体制	<p>NBRP アサガオでは約 3,000 系統を保存している。このうち、東京古型標準型のゲノム配列だけが高精度に解読されており、NBRP で整備したデータベースから情報を公開している。一方、最も利用されているリソースである標準系統のムラサキや、国際的に評価の高いアサガオの研究に利用されてきた突然変異体のゲノム情報は全く整備されていない。そこで本課題では、アサガオリソースのうち、標準系統ムラサキ並びに主要な突然変異を網羅する国内の系統と、それらとは日長感受性や開花時期などの特性が大きく異なる国外の自然集団由来の系統など、100 の代表系統についてリシーケンスを行い、多型や遺伝子の変異についての情報を整備して公開することを目的とする。この目的を達成するために当年度は、(1)代表的な 100 系統からのサンプリングと DNA 抽出、(2)コミュニティからの既存のリシーケンスデータ収集、(3)シーケンスライブラリの構築、(4)塩基配列分析、(5)ゲノム情報解析による多型の同定、を行う。</p>
成果	